

科目名(英文名)	ナンバリング	単位数	年次	期間	担当者
Intellectual Property Studies III (Intellectual Property Studies III)	MPCC21	2	1年次	後期集中	内藤 浩樹(ナイトウ ヒロキ) 箱田 聖二(ハコダ セイジ) 村川 一雄(ムラカワ カズオ) 松井 章浩(マツイ アキヒロ)

授業のねらい概要	世界経済がグローバル化する中、知的財産に関わる業務を遂行するためには、国際感覚豊かな人材として、グローバルな知的財産業務の遂行が必要である。そのためには、海外の専門家に対して、日本における知財財産業務についても、英語で自由に伝えるスキルが基本となる。 この講義においては、知的財産の制度・しくみと、企業におけるビジネスにおいて、知的財産がどのように活用されているのかを英語で学ぶことにより、企業あるいは法律事務所において、国際的な知的財産の業務担当を目指す人を育成することを目的とする。 本講義は、Intellectual Property Studies I, II, IIIの科目の最終科目として、グローバル知財人材に向けての展開知識として、ビジネスへの応用に向けた戦略を英語で理解することを目標とする。
----------	--

授業計画(授業のスケジュール)	回数	テーマ	授業の内容・教育方法	予習/復習
	第1回	ガイダンス Guidance	講義の進め方・成績評価等の説明 基本英語表現の学習?	基本英語表現の復習(4.5H)
	第2回	知的財産戦略 I IP strategy I	知的財産戦略の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第3回	知的財産戦略 II IP strategy II	知的財産戦略の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第4回	産学連携 Industry and Academia collaboration	産学連携のしくみの英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第5回	標準化と知的財産 I Standard and IP I	標準化と知的財産の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第6回	標準化と知的財産 II Standard and IP II	標準化と知的財産の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第7回	知的財産マネジメント I IP management I	知的財産マネジメントの英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第8回	知的財産マネジメント II IP management II	知的財産マネジメントの英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第9回	産業界知財団体の取組 IP association of industry	産業界知財団体の取組の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第10回	政府機関の知財取組 IP policy of Government	政府機関の知財取組の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第11回	日本企業の知財活動事例 I IP activities of JP enterprise	日本企業の知財活動事例の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第12回	日本企業の知財活動事例 II IP activities of JP enterprise	日本企業の知財活動事例の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第13回	国際的な知的財産課題 I International IP issues I	国際的な知的財産課題の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第14回	国際的な知的財産課題 II International IP issues II	国際的な知的財産課題の英語学習	事前配布資料の予習 講義内容の復習(4.5H)
	第15回	課題レポートの講評 Comments on report	講義理解度の確認・不足する英語力の学習	講評内容に基づく復習(4.5H)

到達目標	以下に示す必要最低限の目標を達成すること。 1. グローバルなビジネスに必要な英語でのリスニング力を身につける 2. 知的財産制度のビジネスへの応用に向けた戦略を表わす英文表現を理解できる
評価方法	到達目標に対する達成度合いを評価 ・平常点(講義への参画度)50% ・演習課題(レポートの充実度)50% 詳細は講義(ガイダンス)の際に説明します
成績評価基準	講義への参画度、レポートにより、到達目標を達成しているかを判定する。達成していない場合、本単位を取得できない(欠格条件)。 到達目標の1, 2の達成度を、評価方法に示す内容で総合的に判定する。 A: 到達目標項目について、全てを総合して平均90%以上の達成度 B: 到達目標項目について、全てを総合して平均80%以上90%未満の達成度 C: 到達目標項目について、全てを総合して平均70%以上80%未満の達成度 D: 到達目標項目について、全てを総合して平均60%以上70%未満の達成度 F: 上記以外

教科書			参考書		
書名	著者名	出版社名	書名	著者名	出版社名
			欧州特許出願の基礎と実務	Rainer Fritsche他	東洋出版

受講心得	グローバルなビジネスに必要な英語でのコミュニケーション力の醸成に向けて、英語での履修を主体に講義をすすめますので、積極的な参加をよろしくお願いいたします。 課題レポートに対しては、講師からコメントを行いますので、その内容についての復習をお願いします。 なお、講義の時間帯は、原則、平日の2限目としますが、外部講師等の都合によって、時間・場所は、適宜、変更する可能性があることをご了承ください。 講義の進行に際しては、コミュレボを活用し、講義スケジュールの連絡・資料の配布・提出などの手続を円滑にすすめます。
------	--

オフィスアワー	講義前後の時間、及び電子メールで質問事項に対応します。原則、各講師の研究室で行いますので、事前に連絡を入れて頂ければ幸いです。それ以外の時間も、連絡を頂ければ、個別に設定いたします。?
---------	--